

雨の強さと降り方の目安

1時間雨量 (ミリ)	予報用語	人への影響	屋外の様子・車に乗っていて	災害発生状況
10～20	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	地面一面に水たまりができる。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20～30	強い雨	傘をさしていてもぬれる。	ワイパーを速くしても見づらい。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30～50	激しい雨		道路が川のようになる。高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50～80	非常に激しい雨	傘は全く役に立たなくなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。	マンホールから水が噴出する。土石流が起りやすい。多くの災害が発生する。
80～	猛烈な雨			雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な警戒が必要。

浸水被害への対策

● 排水を控える

大雨時には家庭からの排水は控えましょう。一軒一軒の家の排水が集まれば、相当な水量になります。

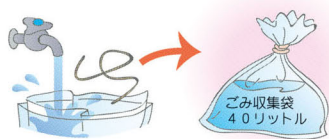
● 水防の準備

土のうなどを用いて、家への浸水を防止しましょう。

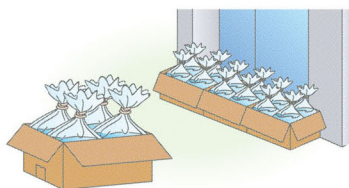
家庭での簡易水防工法例

簡易水防工法は、ご家庭にある物を使って浸水を防ぐ方法です。あくまでも水深の浅い段階でのものです。

● 簡易水のうの作り方

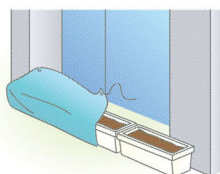


40リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ、中袋をひもでしばり、外袋もひもでしばります。（持ち運べる程度にします）



ダンボールなどに入れると持ち運びに便利です。強度も増し、設置も簡単です。

● 家庭にあるものを利用した簡易水防工法



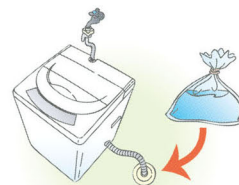
土を入れたプランターやポリタンクに水を入れたものを並べてレジャーシートで包み、浸水を防ぎます。



簡易水のうを作り、長めの板と組み合わせ、浸水を防ぎます。

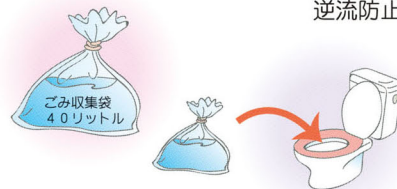
● 意外な場所からの浸水防止

洪水時には、洗濯機やお風呂場の排水口やトイレなどの思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口やトイレを水のうでふさぎましょう。



洗濯機の排水口からの逆流防止

● 簡易水のう トイレの排水口からの逆流防止



風呂場の排水口からの逆流防止

